

実施日：令和4年6月13日（月） コマ：2

事業名：日本博を契機とした観光コンテンツの拡充  
（国際観光旅客税財源）

とりまとめ結果：事業全体の抜本的な改善

廃止1名	事業全体の抜本的な改善4名	事業内容の一部改善1名	現状通り0名
------	---------------	-------------	--------

【とりまとめコメント】

- 事業成果の評価基準を適正に定めるべき。その際本事業の目的と整合していること、事業があるときとないときの差を明示できるようなものであること、評価基準間の優先順位を意識すること等の観点に留意すること。
- 再委託、再々委託の合理性とコスト、効率性のバランスについては常に検証を怠らないこと。
- 公募要領自体の抜本の見直しを行うこと。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 中身は問題ないが、発注・入札関係は分かり辛い。質に悪影響がない程度に、一定の競争をより担保した方が良い。
- ・ 事業目的と、一過性イベントの支援等の手法及び事業成果の評価基準が整合しておらず、一旦立ち止まって抜本的に効果検証・再整理を行う必要がある。
- ・ 特に評価基準が総花的で事業目的と整合しておらず、優先順位がつけられていない。
- ・ 事業レビューシートの「有効性」の自己評価は甘すぎる。
- ・ 個別に実施されている事業の効果測定が不十分。実施された事業が事業者からの企画事業であり、効果測定ができていない。
- ・ 再委託、再々委託の合理性とコスト、効率性のバランスについては常に検証を怠らないように。
- ・ インバウンドの増加を目指しているものの、効果が明確ではない。
- ・ 公募要領自体の抜本の見直しが必要に感じます。予算があるから配分しているというように、予算の無駄遣いに見られてしまうのが残念。